

平成29年度 全国学力・学習状況調査（平成29年4月18日実施）

# 三田市の結果概要

「自分が好き、人が好き、このまちが好き、  
夢にむかって歩むさんだっ子」

をめざして

三田市教育委員会

# 本市の結果をお知らせします！

平成29年度全国学力・学習状況調査の「国語、算数・数学」と「質問紙調査」についての、詳しい分析結果をお知らせします。

平成29年4月18日に文部科学省が、「全国学力・学習状況調査」を行いました。

今年で10回目を迎えるこの調査は、文部科学省が全国の児童生徒の学力や学習状況を調べ、義務教育の成果と課題を確かめ、改善を行うために実施するものです。

三田市では、これまでの調査結果も活用し、分析を進めました。

## 1 本調査のとらえ方

三田市教育委員会では、この調査の結果を受け、三田市学力向上推進委員会を開催し、三田市の結果分析を進めてきました。三田市の平均正答率は、過去9回と同様に、小学校・中学校共に全国・県平均を上回り“良好”でした。

また、「教科に関する調査（国語、算数・数学）」と「生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査」との関連についても分析した結果、

「携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っている。（P8）」

「家で、自分で計画を立てて勉強をしている（P9）」

「自分の考えを発表する機会が与えられていたと思う（P10）」

「話合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている（P11）」

「人の役に立つ人間になりたい（P11）」

などと回答している子どもは、平均正答率が高い傾向が見られました。

さらに、各学校においても結果を分析し、学力向上に向けた様々な取組の成果と課題を明らかにし、今後の改善につなぎます。

次代を担う子どもたちが、基本的な生活習慣や学習習慣を身に付け、健やかに育ち、心豊かに生きていくためには、学校と家庭、地域の協力や連携がとても大切です。

三田市教育委員会は、調査結果から見えてきた成果と課題を踏まえ、子どもたちの『生きる力』を育成していくための取組を進めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

## 2 調査の概要及び公表方法について

(1) 調査の実施日 平成29年4月18日(火)

(2) 調査の対象 小学校6年生(市内20校894名) 中学校3年生(市内8校893名)

(3) 調査内容

### ①教科に関する調査(国語、算数・数学)

- ・主として「知識」に関する問題(A)(以下(A)と表記)
- ・主として「活用」に関する問題(B)(以下(B)と表記)

### ②生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

(4) 公表方法について

本結果概要では、全国や兵庫県の状況を踏まえた上で、教科と領域ごとの結果と、本市の子どもたちの優れている点やつまづきが見られる点について明らかにすると共に、学びのポイントについて総合的に分析した結果の一部を記載しています。

同様に、子どもたちの学習や生活に対する意識や実態等について、「教科に関する調査(国語、算数・数学)」と「生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査」の二つの結果をもとにした、「児童生徒質問紙調査の結果と教科調査とのクロス集計分析(P8～)」を記載しています。

昨年度より、国・県においては、細かい桁によるわずかな差は、学力面での実質的な違いを示すものではないと考えられるとして、各教科の平均正答率は整数値で公表しています。

三田市もこれに準じ、各教科及び領域の平均正答率は、小数点以下を四捨五入した整数値で公表します。ただし、質問紙の数値については、従来通り、小数点以下第1位の数値を公表します。

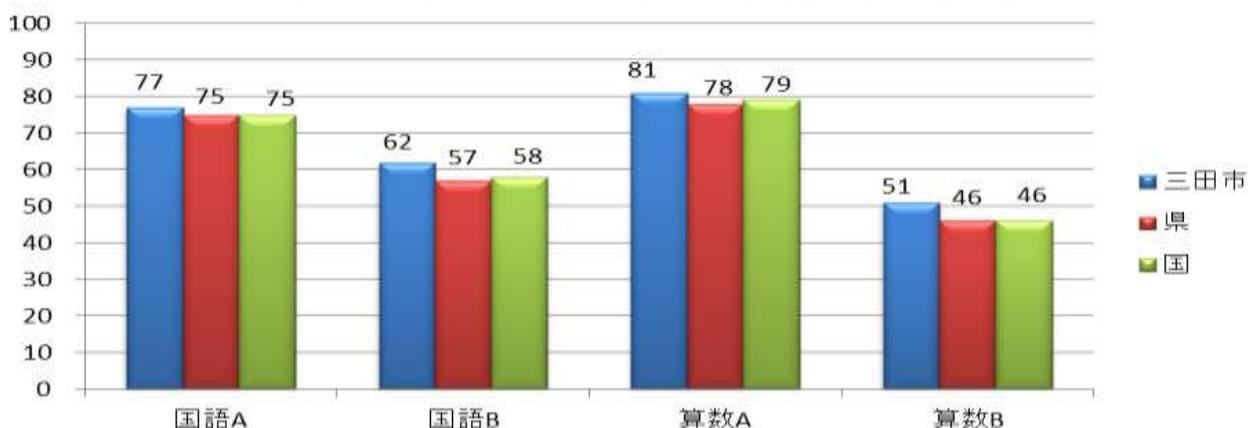
### 3 子どもたちの学力の定着状況について

国語、算数・数学全体の調査結果

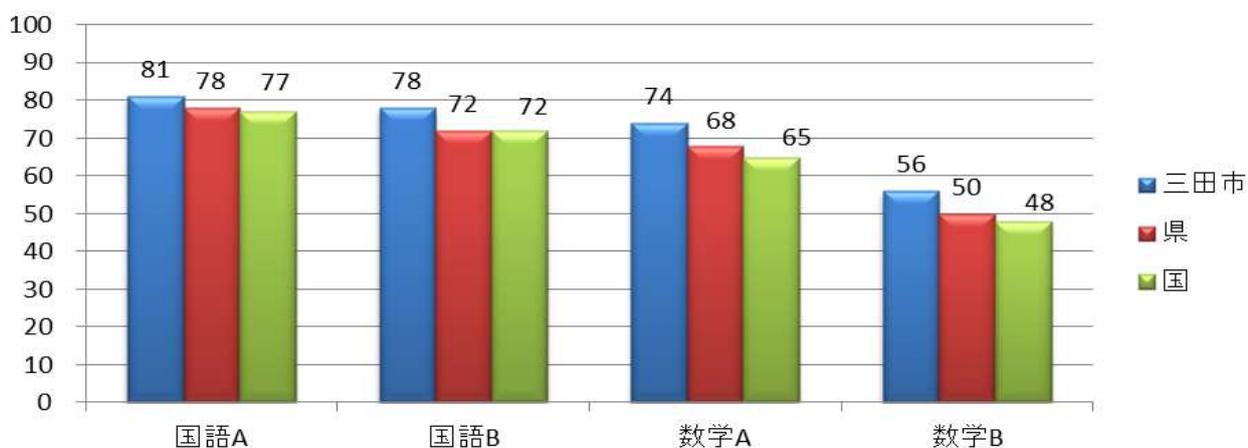
全国・兵庫県の状況を踏まえ三田市の現状を分析したところ、結果は

**良好**でした。

平成29年度 小学校 教科別正答率



平成29年度 中学校 教科別正答率



平均正答率 (%)

#### 本市の傾向

※国語、算数・数学のA・B問題において、全国・兵庫県の平均正答率を上回っています。

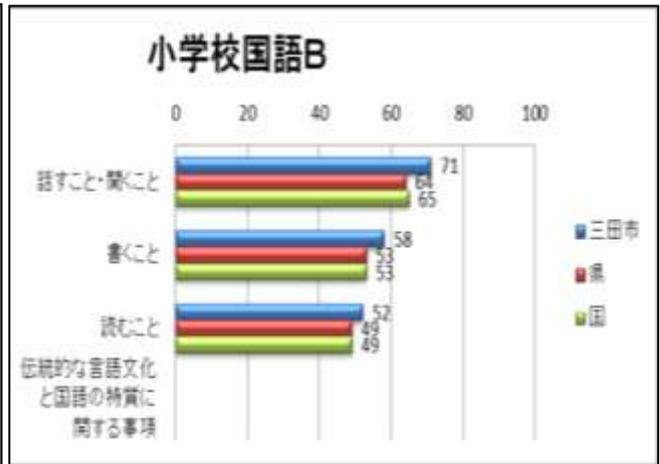
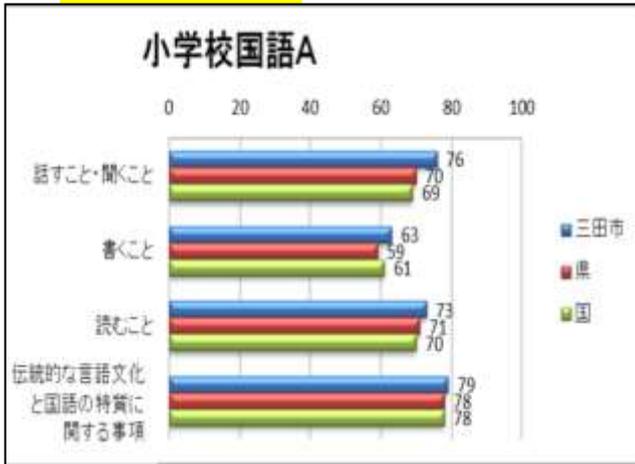
※今年度は、下記の3項目で全国平均を6ポイント以上、上回っていました。

中学校国語(B)(全国平均より+6ポイント)

中学校数学(A)(全国平均より+9ポイント)

中学校数学(B)(全国平均より+8ポイント)

① 小学校：国語



※平均正答率 (%)

本市の傾向と学びのポイント

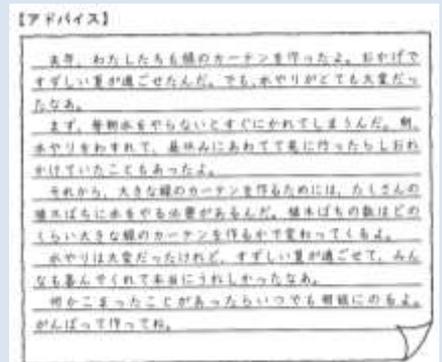
※全領域において全国・兵庫県の平均を上回っています

【よくできていること】

- ・話し方の工夫やスピーチメモのよさをとらえること
- ・目的や意図に応じて必要な情報を見つけて読むこと

【課題】

- ①相手の発言の意図を捉えたり、確かめたりすること
- ②考えを伝えるために、根拠や理由を整理して書くこと



(H29 年度全国学力・学習状況調査 小学校国語 B<sub>3</sub>より)

学 び の ポ イ ン ト

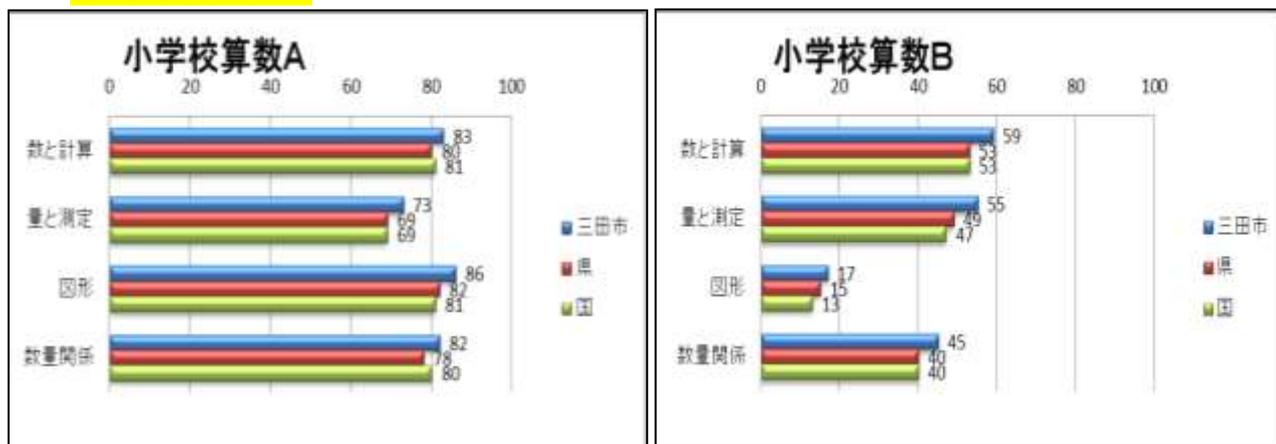
①目的や意図に応じた話し方・聞き方を考えよう

②発言の理由や根拠を明らかにして、伝える習慣を身につけよう

・話し合い活動では、めあてにそって話し合いを進め、一人一人が話し方や聞き方を工夫する意識を持ちましょう。

・「考えを表現するときに、理由や根拠を示す」「相手の考えの理由や根拠を確かめる」といった習慣を身につけましょう。

## ② 小学校：算数



平均正答率 (%)



### 本市の傾向と学びのポイント

※全領域において全国・兵庫県の平均を上回っています

#### 【よくできていること】

- ・示された考えを解釈し、数を変更した場合も同じ関係が成り立つことを、図に表現すること
- ・平均を求める式を判断すること

#### 【課題】

- ①割合を比較するという目的に適したグラフを選ぶこと
- ②身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述すること

### 学 び の ポ イ ン ト

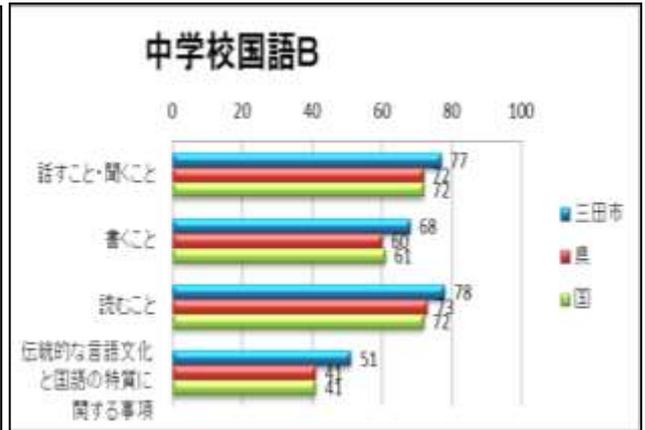
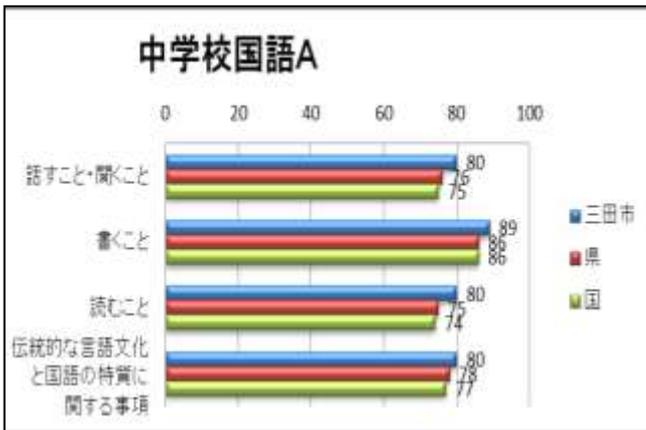
①様々な種類のグラフが表している内容を説明し合おう

②具体的な数を示しながら、判断の根拠を説明しよう

- ・生活の中にある様々なグラフを読み取ってみましょう。グラフの表している目的や内容について話し合い、数値を比べたり、つなげたりして分析してみましょう。
- ・図と式と言葉をつなぎ合わせながら、判断の根拠を説明してみましょう。



### ③ 中学校：国語



平均正答率 (%)



#### 本市の傾向と学びのポイント

※全領域において全国・兵庫県の平均を上回っています

#### 【よくできていること】

- ・文章を読み取り要旨をとらえること
- ・文脈に即して正しい語句や接続詞を選択すること

#### 【課題】

- ①自分の感じたこと考えたことを整理して書くこと
- ②相手の反応を見ながら分かりやすく話すための工夫をすること

【本の紹介カード】

自分らしさって何だろう……

古道具屋を営む家に生まれた仲のよい三姉妹。でも、麻子(私)は、自由奔放な妹の七葉との違いをいつも感じています。そのような中で少しずつ自分らしさを見付けていく麻子の成長の物語です。

スコア No.4 宮下 奈都

比喩を用いた表現も素敵です!

文学的な文章を読む  
(H29 年度全国学力・学習状況調査 中学校国語 B1より)

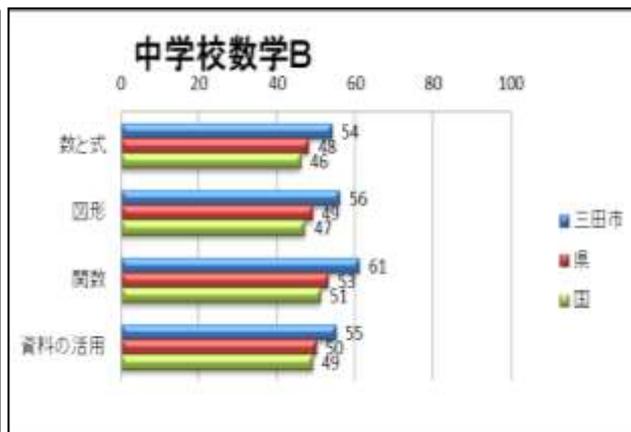
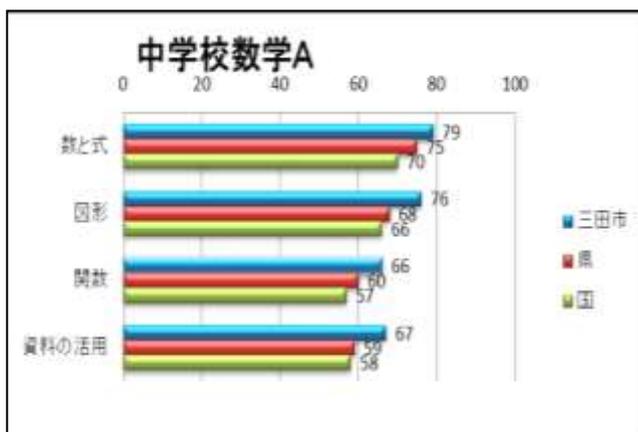
#### 学 び の ポ イ ン ト

①感じたことの原因や考えの根拠を明確に示してみよう

②相手の言葉をしっかりと聞き、自分の考えとの相違点を考えよう

- ・グループの討議の中で、互いに具体的な根拠を示しながら論議し、それぞれの考えを相互理解しながら考えを深めていきましょう。
- ・ニュースに触れたり、新聞記事や論説文を読んだりして、情報伝達の方法を学んでいきましょう。

#### ④ 中学校：数学



平均正答率 (%)



### 本市の傾向と学びのポイント

※全領域において全国・兵庫県の平均を上回っています

#### 【よくできていること】

- ・基礎的な計算や一次関数のグラフを正確に読み取ること
- ・与えられた資料の中から必要な情報を見つけ、答えを求めること

#### 【課題】

- ① 図形の公式を活用し、正確に解答すること
- ② 示された式の意味を筋道立てて説明すること

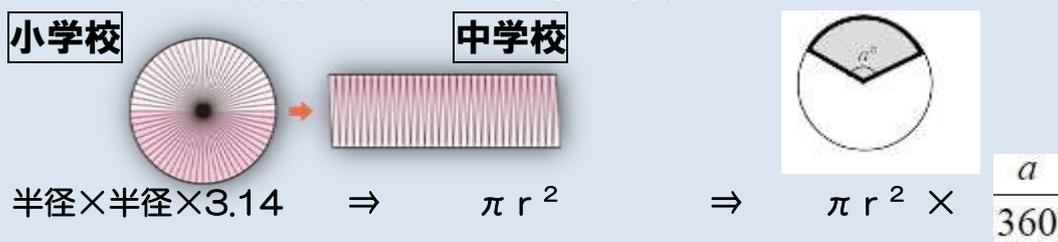
### 学 び の ポ イ ン ト

① 公式の成り立ちと使い方を理解し、活用できるようになろう

② 式が成り立つ理由を数学的に説明しよう

- ・小学校から習ってきている図形の公式の成り立ちを再度理解することで、中学校での図形を扱った課題に対し、有効に活用できる公式となります。

(例)円の面積からおうぎ形の面積へ



- ・式が表す意味、成り立つ理由を、式の数字・記号などが何を表しているかを考え、それらを使って、筋道立てて説明してみましょう。

## 4 子どもたちの学習や生活に対する意識・実態について

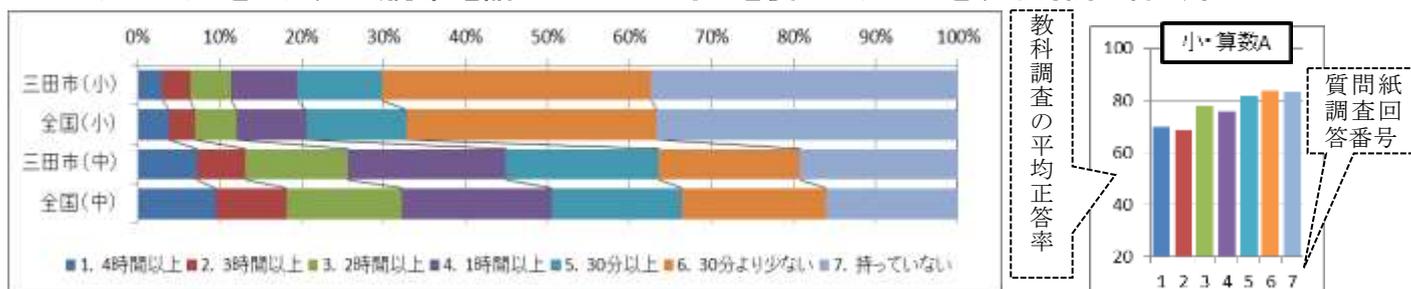


～児童生徒質問紙調査の結果と教科調査とのクロス集計分析より～

児童生徒質問紙調査については、全国値との比較、小中学校の値の比較から、三田市の特徴や課題を分析します。分析の視点は、これまでと同様に、『生活・学習習慣』『学が意欲』『自尊感情』です。

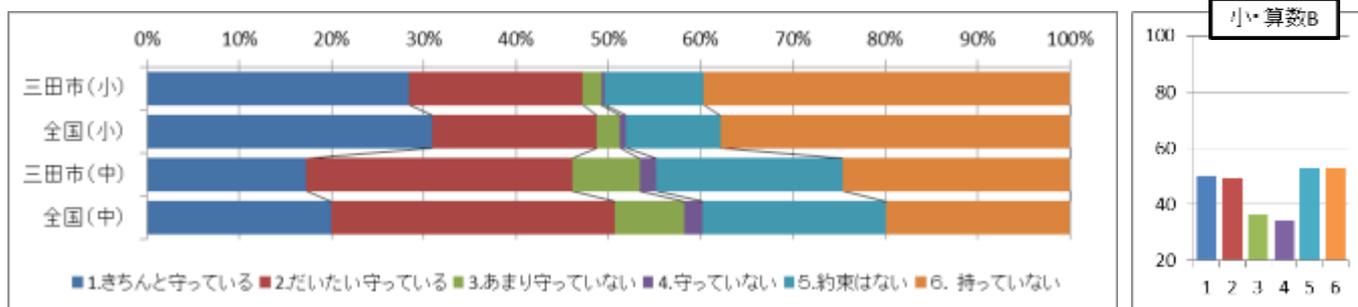
### 1 「生活・学習習慣」と学力

Q. 普段(月～金曜日)、1日あたりどれぐらいの時間、携帯電話やスマートフォンで、通話やメール、インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)。



質問に対する回答者の平均正答率をグラフにしたものです。右上のグラフでは、質問で「6. 30分より少ない」と回答した子どもの平均正答率が高いことが分かります。

Q. 携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。

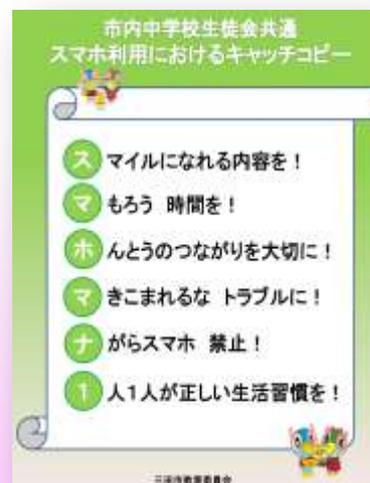


### 携帯電話のルールを決めよう！『スマホマナー』

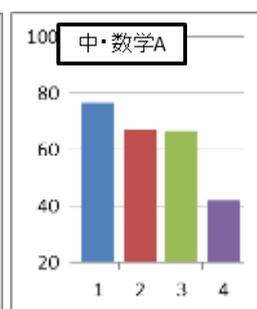
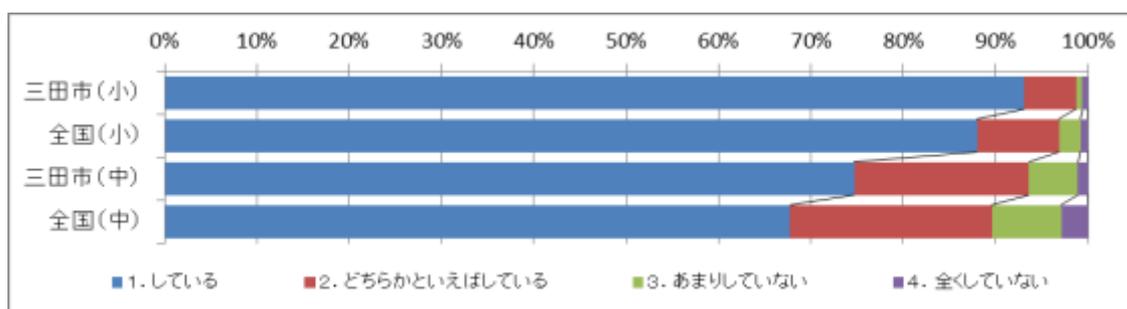
- ・スマートフォンなどを使う時間が短いほど、学力調査の平均正答率が上がっていく傾向にあります。
- ・携帯電話やスマートフォンを使う際、家庭で決めたルールを守る子どもの平均正答率が高い傾向が見られます。
- ・ルールを決めて、子どもたちが自分の意志で行動をコントロールし、生活を改善していく力を育てていくことが重要です。

三田市内中学校生徒会共通

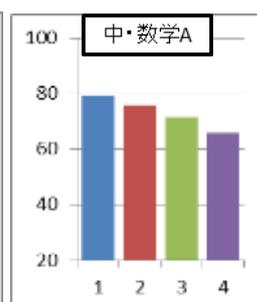
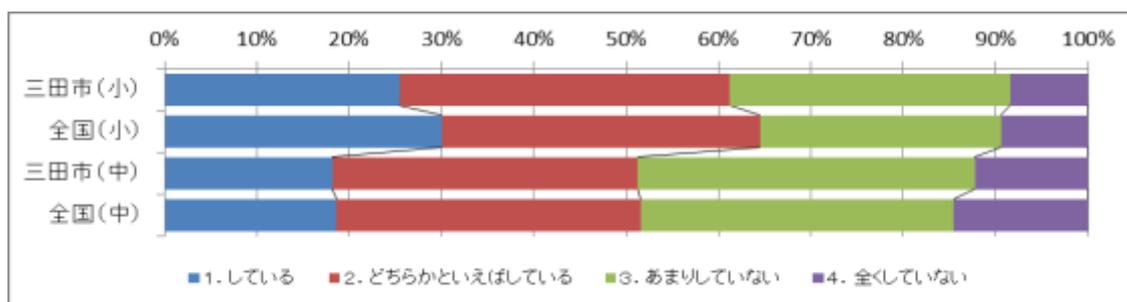
スマホ利用におけるキャッチコピー →



## Q.家で、学校の宿題をしていますか。



## Q.家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。



### 自分で計画を立てこつこつと

- ・三田の子どもたちが、家で学校の宿題をしている割合は、小学校、中学校ともに全国平均よりも高く、宿題に対する意識が高いほど、学力が高い傾向が見られます。
- ・三田の子どもたちは、「自分で計画を立てて勉強する」割合が全国平均を下回りました。計画を立てて自主的に勉強する児童生徒ほど、学力が高い傾向が見られます。
- ・小学校5年生全員に配布している『ひとり学びへの手引き』を活用して、自主的に学習に取り組む習慣をつけましょう。



## 2 「学ぶ意欲」と学力

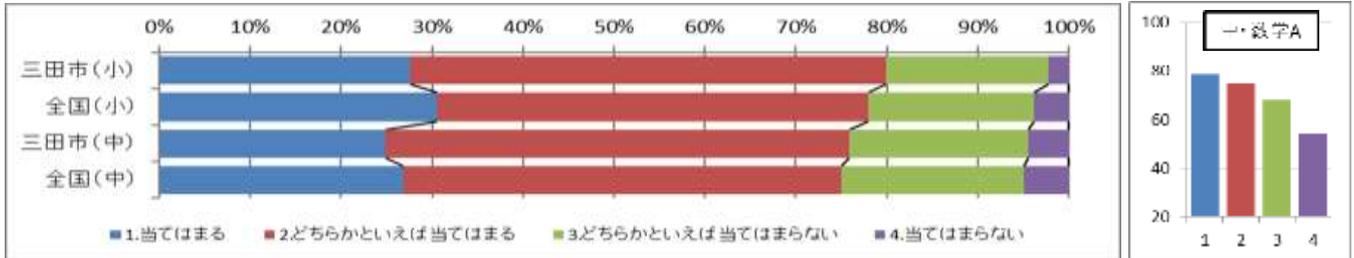
次期学習指導要領の中で、『主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善』が求められています。

### 『主体的・対話的で深い学びの実現（「アクティブ・ラーニング」の視点からの改善）』について

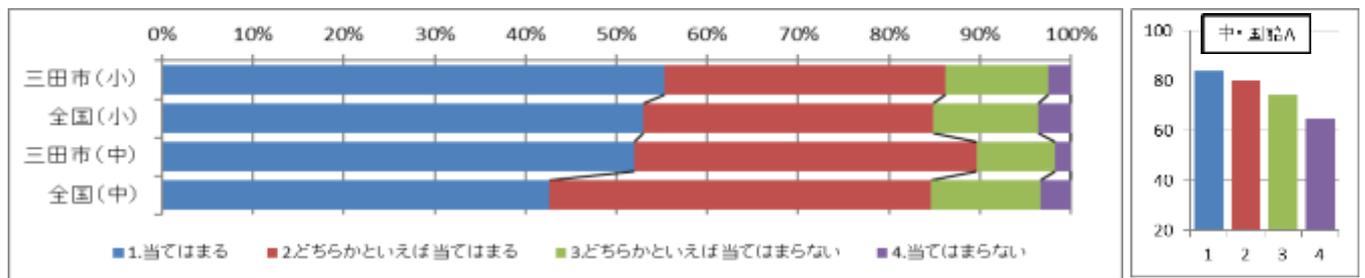
- 【主体的な学び】… 学ぶことに興味や関心を持ち、見通しを持って粘り強く学習に取り組むこと、自らの学習をまとめ振り返り次の学習につなげることなど。
- 【対話的な学び】… 子ども同士の対話、子どもと教員、子どもと地域の人、本を通して本の作者などとの対話を図ることによって、自分の考えを広げ深めていくことなど。
- 【深い学び】… 学びの過程の中で、各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、知識を相互につなぎ、より深く理解したり、情報をよく吟味してそれをもとに考えを作ったり、思いや考えをもとに新しい考えを作ったりすることなど。

ここでは、「学ぶ意欲と学力」について、『主体的・対話的で深い学び』の視点から、児童生徒質問紙調査について分析します。右側の棒グラフでは、3つの項目とも、「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と肯定的に答えている子どもの方が、平均正答率が高い傾向がうかがえます。

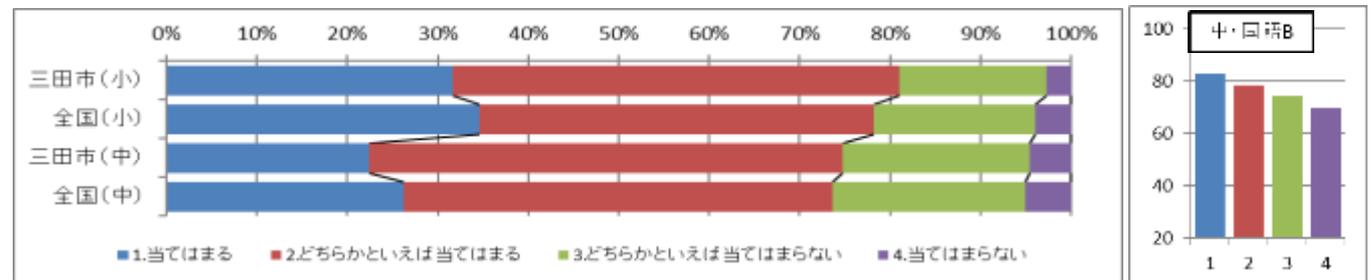
Q. 前学年までに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか。



Q. 前学年までに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか。



Q. 前学年までに受けた授業で、学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていたと思いますか。



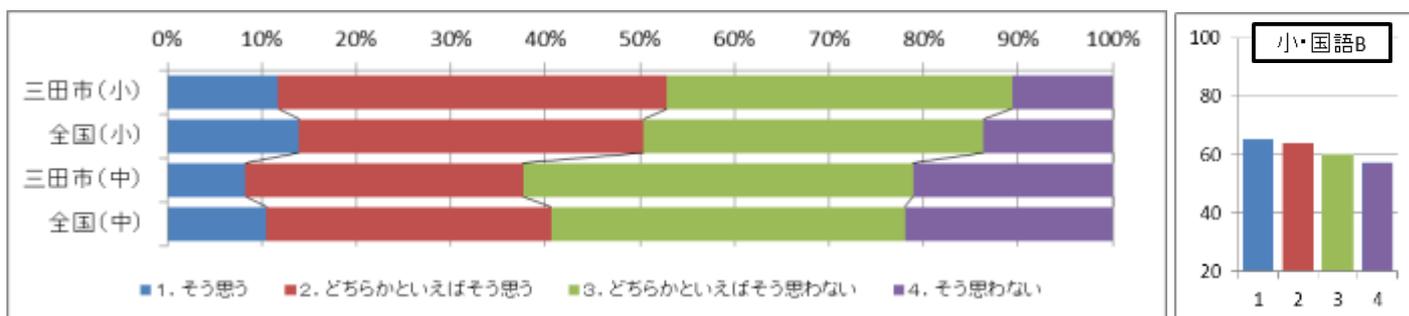
## 『主体的・対話的で深い学び』を！

- ・三田市では各校において「主体的・対話的で深い学び」につなぐ視点で授業が進められている様子が伺えます。
- ・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けて授業改善を進めていくことは、学力の向上につながっていきます。
- ・授業の中で、家庭の生活の中で、自ら課題を見つけ、周りの人と対話し協働しながら課題解決を図り、その過程を振り返る経験が大切です。

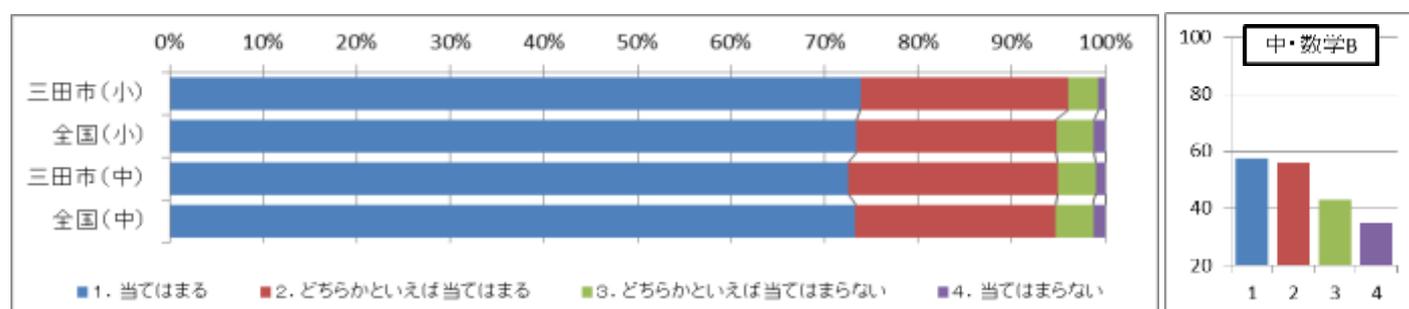


### 3 「自尊感情」と学力

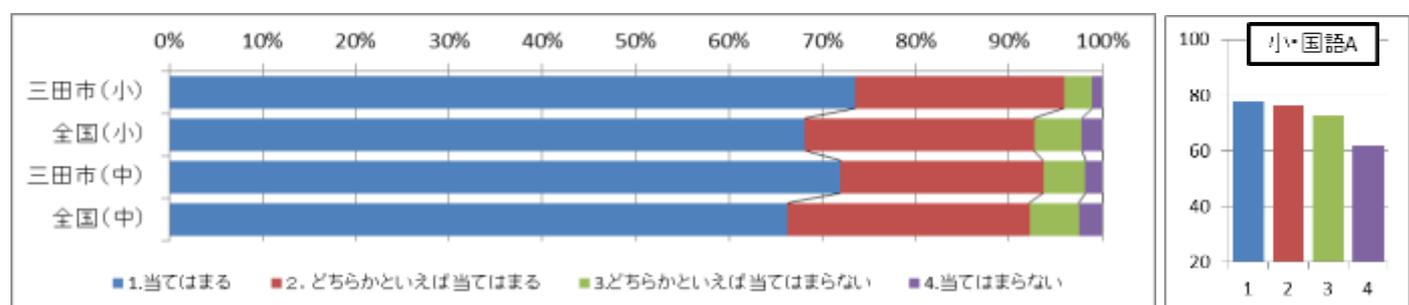
Q. 学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか。



Q. ものごとを最後までやり遂げ、うれしかったことがありますか。



Q. 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



#### 自分が好き、人が好き、このまちが好き、夢に向かって歩むさんだっ子

- ・他者との協力や協働を自覚している児童生徒ほど、学力調査の平均正答率が高い傾向が見られます。
- ・物事に対し粘り強く取り組み、やり遂げたことで自己肯定感が高まることは、学力向上につながります。活用に関する問題の正答率も高い傾向が見られます。
- ・人のために活動し、評価され、感謝されることで、子どもたちの自己有用感が高まります。人の役に立つ人間になりたいという思いを持つことは、学力向上にもつながる傾向を示しています。
- ・学びたい、分かりたい、育ちたいという子どもたちの願いに応えながら、心が安定して、安心して学べる場づくりを学校、保護者、地域が連携して取り組むことが大切です。

